

### JFE北陸システム建築協力会

## 先行き見通し明るく

【あわら】JFEシ  
 ビルは22日、福井県の  
 あわら温泉「つるや」  
 でJFE北陸システム  
 建築協力会の2017  
 年度定期総会を開催。  
 流通や協力施工店など  
 32人が出席した。会  
 は議案決議報告と新入  
 会員の紹介、全国会長  
 会の報告が行われた。  
 冒頭、西村仁会長(中

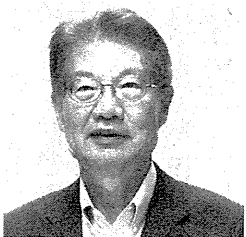
し合いたい」とあいさ  
 つした。

越鉄工社長)は「3月  
 に行われた全国会長会  
 では、皆様ますますの  
 数字をあげられてい  
 た。JFEシビルさん  
 も予想以上の好成績だ  
 と聞いており、先行き  
 の見通しは明るい。昨  
 年度の反省と今年度ど  
 ういった活動に取り組  
 んでいくかを一緒に話



西村会長

来賓あいさつではJ  
 FEsチール北陸支社  
 の尾畠和彦支社長が登  
 壇。足元の経済状況に  
 ついて、「中部経済産業  
 局によると、ここ2カ  
 月連続で改善してい  
 る。設備投資は堅調で  
 公共投資も増加傾向に  
 ある。雇用も改善して  
 いる。今後、人手不足  
 も心配されるが、効率  
 の良いJFEシビルの



藤井社長

システム建築は益々伸  
 びるであろう」と述べ  
 た。また働き方の変化  
 についても触れ、「政府  
 が働き方の改革を打ち  
 出している。それに基  
 づき、弊社でもワーク  
 スタイル変革に取り組  
 んでいる。年休の活用  
 や週に1度の定時退社  
 を推進しており、メリ  
 ハリを持って仕事に取  
 り組む事を目指してい  
 る。社員や社員の家族  
 が誇れる会社にしてい  
 きたい」と話した。

続いてJFEシビル  
 の藤井善英社長は「地  
 域によって温度差はあ  
 るが、建築業界全般は  
 堅調。要員不足の問題  
 や資材の値上がりなど  
 課題はあるが、首都圏

を中心に需要は底堅い  
 ものがある。第5次  
 中期計画の最終年度とな  
 る今期は、売上目標1  
 000億円を目指す。  
 その鍵を握るのが、わ  
 れわれの中核事業であ  
 るシステム建築事業。  
 協力会の皆様の発展と  
 共に事業を成長させて  
 いきたい」と話した。

同社システム建築事  
 業部の平田浩司副事業  
 部長からは17年度の事  
 業方針としてJFEシ  
 ビル全社で売上100  
 0億円達成を目指すこ  
 とや生産施設、商業施  
 設、中小型物流施設等  
 でのメタルビルの採用  
 を増加させること、新  
 築案件でのデバイス販  
 売に注力することなど  
 が説明された。

講演会では福井市立  
 郷土歴史博物館の角鹿  
 尚計館長を講師に迎  
 え、「坂本龍馬の手紙に  
 みる福井藩」をテーマ  
 に講演が行われた。